

第5回 西宮浜小中一貫校設置準備委員会 議事録

日時：令和元年5月20日（月） 午後5時30分～午後7時30分

場所：西宮市立西宮浜中学校 1階地域交流室

出席者：【委員】（14名）

大阪樟蔭女子大学山本教授、西宮マリナパークシティ協議会木村会長、
教育連携協議会木挽委員長、加藤主任児童委員、西宮浜小学校PTA加藤会長、
西宮浜中学校PTA堀兼会長、なぎさ保育園内田代表、いるか幼稚園松本園長、
西宮浜小学校清水校長、西宮浜小学校野田教頭、西宮浜中学校金地校長、
西宮浜中学校岡教頭、津田学事・学校改革部長、佐々木学校教育部長

【事務局】（13名）

谷口学校教育部参事、奥谷学校改革推進課長、河内学校改革調整課長、
木戸学校教育課長、岩本教育研修課長、中島社会教育課長、
越智学校改革調整課係長、中津学校教育課係長、西川学校改革推進課指導主事、
足立学校改革調整課嘱託職員、宮崎学校教育課嘱託職員、岡本学校教育課嘱託職員
木村社会教育課嘱託職員

配布資料：資料①「校名について」

資料②「公募の結果について」

資料③「開校記念行事について」

資料④「学校より」

資料⑤「PTAより」

資料⑥「前回以降の主な動き」

資料⑦「今後の主な動き」

1. 開 式

- 事務局が開催を宣言。
- 新年度のため委員、事務局の自己紹介。
- 津田委員より開会の挨拶。

2. 校名について

- 委員長 ● 「校名について」の審議を行う。説明をお願いする。
- ① 校名について ● 校名の公募結果について説明を行う。
- 事務局 <主な説明箇所>
- ・公募結果を参考に第2回校名検討部会を開催した。
 - ・校名についての案を3つに絞り込んだ。
- 候補1 西宮浜 義務教育学校
- 候補2 西宮浜 小中学校

候補3 西宮浜マリナ 学園

- 委員 Q 長い校名を書くことについて、児童生徒への影響はどうか
小中校長 A あまり書く機会はないが、小学校1年生は難しいだろう。中学生は大丈夫だろう。
- 委員 Q 「学園」は全国でどれくらい付けられているか。
事務局 A 昨年度の数だが、公立の義務教育学校76校のうち、37校に学園が付けられている。また小中学校は16校、義務教育学校は6校である。
- 委員 ● 当初は「西宮浜マリナ学園」がよいかとは思っていたが、今後義務教育学校が多く作られていき、それに従ってイメージが浸透していきだろうと思うと、「西宮浜義務教育学校」がよいのではないか。
- 委員 ● まわりでは普通（の校名）がよいとの意見が多い。また、履歴書等を書くときに、学園ではどのような学校を卒業したのかがわかりにくい。
- 委員 ● 小中学校はシンプルで子供たちも書きやすい。またどのような学校であるかがわかりやすい。
- 委員 ● 西宮浜でしか付けられない名前であり、地域を表した「西宮浜マリナ学園」がよいのではないか。
- 委員 ● 西宮浜では「マリナ」と名が付く行事も多く、また公募でも「学園」が多いこともあり、「西宮浜マリナ学園」がよいのでは。
- 委員 ● 全国では半数近くが付けており、名前を一新し、島外からも子供を呼ぶことを考えると、一貫校としての新しいイメージのためにも「西宮浜マリナ学園」もよいのではないか。
- 委員 ● 卒業した後に、わかりやすい校名がよい。今後は義務教育学校も増えていくであろうことを考えると「西宮浜義務教育学校」がよい。
- 委員 ● 全国的に義務教育学校が増えていくことが予想され、義務教育学校の名前は浸透していく。西宮型の小中一貫教育を進めるならば、「義務教育学校」と名前を付けるのがよいと思う。
- 委員長 ● 「義務教育学校」か「学園」で、最終的な意見を出して選んでもらう。
- 委員 ● 「学園」というのはあこがれる面はあるものの、軽いイメージになる。「義務教育学校」とかしこまったものを選びたい。
- 委員 ● 現在はなじみがないため選ばれていないだけで、将来的な事を考えると「義務教育学校」を選びたい。
- 委員 ● 公募結果で「西宮浜」「学園」が多いことから「西宮浜マリナ学園」。
- 委員 ● 「学園」だと私立といった誤解を生む可能性がある。わかりやすさから「義務教育学校」がよい。
- <最終結果>
西宮浜 義務教育学校（7名）・西宮浜マリナ 学園（4名）
- 委員長 ● これまでの意見を総括し、「西宮浜義務教育学校」を本委員会の意見とし、教育委員会へ上げることとします。

2. 開校式について

- 委員長 ● 「開校式について」の審議を行う。説明をお願いします。
- ① 開校式について ● 開校式の考え方の説明を行う。
- 事務局 <主な説明箇所>
- ・ 始業式前に「入校式（仮）」を短時間で行う。
 - ・ 開校式の名称は「開校記念式典」とする。
 - ・ 開催予定は4月末とする。
 - ・ 2部制とし、市教委主催と学校主催に分ける。
 - ・ 市長、市議会議長、県教委などの来賓をはじめ幅広く招待する。
- 委員長 ● 基本的な考え方としてはこれでよいか。
- 日程や式典の中身についても具体的に検討を進めてほしい。

3. 各種報告について

- ① 学校より 小校長 ● 小中学校の進捗状況について報告を行う。
- <主な報告箇所>
- ・ 教職員向けに義務教育学校への経緯を委員会から説明があった。
 - ・ 各部会における進捗状況について。
特に特別支援学級については設備における課題の解決や、教室や人員の配置について検討を重ねている。
- ② P T Aより 小P会長 ● P T Aの進捗状況について報告を行う。
- <主な報告内容>
- ・ 3月に「第1回西宮浜小中一貫校P T A設置準備会」を開催し、準備を開始した。
- ③ 前回以降および今後の動きについて 事務局 ● 前回以降および今後のおもな動きについて報告を行う。
- <主な報告内容>
- ・ 3月本会議にて条例改正がなされ正式に義務教育学校設置が認められた。
 - ・ 4月には保護者説明会と地域説明会を実施した。
 - ・ 7月の市政ニュースにて義務教育学校開校について周知する。また、市政ニュースを用いて様々な情報を発信する。
 - ・ 8月には児童生徒の募集に向けて、市内各地で説明会を開催していく。

4. 閉 式

- 事務局より事務連絡。次回は7月の開催を予定。
- 委員長が閉会を宣言。